

2015年1月29日

北里大学 獣医学部長 高井伸二 殿

特定非営利活動法人 地球生物会議(ALIVE)
〒113-0021 東京都文京区本駒込5-18-10-102
TEL:03-5978-6272/FAX:03-5978-6273
E-mail: alive-office@alive-net.net
担当: 藤沢

北里大学獣医学部における病理学実習に関する質問書

当会は、地球上に生息するすべての生物が尊重される社会を構築することを理念として、動物、生命、環境に関する問題の実態調査および改善提言等を行っている非営利団体です。

先日、当会へ、貴大学獣医学部で行われた牛を使用した病理学実習について、情報が寄せられました。

情報の要旨は、

「北里大学獣医学部で、平成 26 年 12 月 19 日の午後、牛の病理解剖を行う中で、症例担当の教授が牛の肉を食べようと提案し、牛は麻酔なしに放血死させられ、苦しそうに死んでいった。解剖中に肉を採取した。」というものでした。

本件が仮に事実であるとすれば、動物福祉、公衆衛生、さらに教育倫理上の問題があると当会では考えております。そこで、本件につきまして、以下のような事実確認並びにご質問をさせていただきます。

【質問内容】

1. 牛を無麻酔で放血死させたのは事実でしょうか。
2. 食用のために肉を採取したのは事実でしょうか。
3. 2が事実である場合、採取した肉を食べたり学生等に配ったりした事実はありますか。
4. 過去にも病理学実習他、実習で使用した動物について、食用に供したことがありましたか。
5. 貴大学獣医学部には、動物実験委員会がありますか。ある場合には、学生の実習についても審査の対象としていますか。している場合、当該解剖実習は委員会の承認を得たものでしたか。
6. 5で承認を得たものでなかった場合、貴大学は、当該解剖実習の内容について、事前に把握していましたか。
7. 貴大学では、牛等の大動物について、通常、実習や解剖に用いる際には、どのような殺処分方法を用いていますか。
8. 貴大学では、動物の安楽殺の指針を設けていますか。設けている場合、牛等の大動物の安楽殺についてどのように定めていますか。
9. 1が事実である場合、貴大学では、当該殺処分方法を妥当な方法であると考えていらっしゃいますか。
10. 本件について、お知りになったことはありますか。もしあるとすれば、どのような対応をとられましたか。

以上、お忙しいところ恐縮ですが、できる限り速やかに書面にてご回答をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。